

議会せきがはら

第

146

号



7月30日～8月1日の間、町民納涼ソフトボール大会が桃配運動公園で行われました。

2～3頁 ◆ 6月定例会

4～9頁 ◆ 一般質問

10頁 ◆ 委員会報告・議会日誌

一般会計補正予算
特別会計補正予算

5,907万9千円の追加
893万3千円の追加

補正予算

☆平成25年度一般会計補正予算（第1号）

歳出の主な内容は

・ 人件費関係	1 2 9万9千円
・ 自治会集会施設設置事業補助金	1 3 5万9千円
・ 標準地鑑定評価委託料	4 3 3万2千円
・ 選挙用備品購入費	2 2 0万5千円
・ 国民健康保険特別会計繰出金	5 9万4千円
・ 老人福祉センター施設改修工事	1 1 5万5千円
・ 介護保険特別会計繰出金	2 9万3千円
・ 保育園施設改修工事	5 3万1千円
・ 風疹予防接種委託料	2 0万円
・ 町指定ごみ袋購入費	4 4 0万円
・ 今須農業集落排水事業特別会計繰出金	6 0 0万円
・ 畜産加工設備機器	6 5万円
・ 所有権移転登記等委託料	2 1 8万8千円
・ 林道維持補修工事	2 3 0万円
・ 大谷吉継陣跡整備委託料	4 5万円
・ 道路点検業務委託料	2 8 6万円
・ 除雪車購入費	7 5 6万円
・ 緊急雇用事業（新たな関ヶ原発見事業）	
	1, 8 9 0万円

こんな事が決まりました

平成25年第3回定例会は、6月11日から21日まで11日間の会期で開かれました。

本会議では一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、今須農業集落排水事業特別会計の補正予算について審議を行いました。

● 一般会計補正予算
質疑（抜粋）

質疑

大谷吉継の陣跡整備は地元から話が出たのか町から出た話なのか

回答

両方から出ている。山地区から大谷吉継の陣跡の碑のほうの整備をしたいと要望があり、それなら町も大谷の陣から小早川の陣を眺められる位置で整備できないかと提案させていただいた。

質疑

選挙の投票用紙の読み取り分類機は、財源は町費としてあるが、国からの補助はないのか。

回答

参議院議員選挙費は国から委託金として入り、選挙備品についても補助対象である。選挙終了後精算し財源の更正をする。

質疑

観光費の中で、新たな関ヶ原発見事業とあるが、この事業を実施するとき、町民に周知徹底を図って欲しいがいかがなものか。

回答

新たな関ヶ原発見事業も含め、観光関係のPRについては鋭意努力をさせていただく。

質疑

プリンの販売や、ヤギの貸し出しも行うがヤギ事業全体をどのように考えているのか。また、関ヶ原駅ができて130周年を迎え、鉄道マニアの中でも駅に対して関心が高いと聞くので関ヶ原発見に歴史以外も含め検討してほしいかがか。

回答

ヤギ貸し出しについては、規定を整備し町民に周知する。プリンについては、新たな商品を開発し、「関ヶ原に行けばヤギ関連の商品がある」ということを定着させていきたい。

新たな関ヶ原発見事業について

は、昔からの歴史、トリア的な情報も発信しながら関ヶ原をPRしていく。

☆平成24年度関ヶ原町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について

について

平成24年度一般会計予算に定めた公共土木施設災害復旧事業に係る歳出予算の経費を平成25年度に繰越したため、繰越明許費繰越計算書により報告を受けました。

☆平成25年度関ヶ原町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成25年度の税制改正により国民健康保険の特定世帯の保険料の軽減措置が延長されたことに伴い、情報センターによる電算処理委託料が必要となったため59万4千円を追加するものです。

☆平成25年度関ヶ原町介護保険特別会計補正予算(第1号)

保健師の産休及び育休に伴う臨時保健師採用に係る人件費233万9千円を追加するものです。

☆関ヶ原町土地開発公社の経営状況の報告について

平成24年度の決算書及び平成25年度の予算書により経営状況について報告を受けました。

質疑

準備金の中の前期繰越準備金は確かに精査されているか。

回答(理事長)

精算という中で代位弁済による減額という形で町の方へ移管するときその利益分は放棄したという処理をさせていただいた。

☆工事請負契約の締結について

関ヶ原中学校建設工事の指名競争入札を執行した結果、落札者がなかったため、地方自治法施行令第167条2第1項第8号の規定により最低価格入札者である

TSUCHIYA・藤塚・室建設

工事共同企業体との協議の結果、随意契約により契約を締結するものです。

・ 契約の目的
関ヶ原中学校建設工事

・ 契約の方法
随意契約

・ 契約の金額
11億2,350万円

・ 契約の相手方
TSUCHIYA・藤塚・室

建設工事共同企業体

質疑

随契という点では今後も起こる可能性もあり得ることから、予定価格を前もって公表するとか回数を増やすとか考えていただけるか伺う。

回答

今後については検討する。

811番184地先

☆町道の路線認定について

◎ 駅北9号線
起点 大字関ヶ原字出口

504番1地先
終点 大字関ヶ原字福井

909番13地先

質疑

駅北9号線は、除雪路線に入るのか。

回答

今年度より除雪路線に加えていきたい。

☆平成25年度関ヶ原町今須農業集落排水事業特別会計への繰入金の変更について
維持管理費増額のため、一般会計からの繰入金を次のように変更するものです。

変更前

1,856万5千円

変更後

2,456万5千円

☆町道の路線変更について

◎ 駅北1号線

起点 大字関ヶ原字野田

811番99地先

終点 大字関ヶ原字野田

4人の議員が町政について一般質問を行いました。

第3回定例会

一般質問 町政を問う

田中 由紀子 議員

1. 関ヶ原病院の存続に向けて
2. 町営駐車場、駐輪場について
3. ごみ袋の改善を

小谷 清美 議員

1. エピペンについて
2. 町内各公共施設の耐震診断結果と耐震補強工事計画について
3. ジビエ（獣肉）について

川瀬 方彦 議員

1. 災害と防災について
2. 観光事業について

子安 健司 議員

1. 駅前駐輪場及び駅前スペースについて



田中由紀子 議員

質問 1 関ヶ原病院の存続 に向けて

① 問 関ヶ原病院の経営形態を地方公営企業法の全部適用したいとの町長の考えが先般示され、事業管理者が病院長になるといふ点が大きく変わると理解しているが、この公立病院改革プランにより、全国では公立病院の統廃合、再編等すすめられ、地域から病院がなくなるところまで出ている。関ヶ原病院は町民にとってなくてはならないものであり、今後も存続のために努力されると受け止めるが町長の考えを求める。

② 病院を支えているのは医

師ほか病院職員の力が大きい
が、全部適用によって職員の
労働条件はどうなるのか伺う。

③ 病院経営について、集団
で理解し方策を考えることは
事業管理者や職員に常に緊張
感をもって臨んでもらうため
には必要であると思うが、現
状のチェック体制はどうなっ
ているのか、また今後の進め
方について伺う。

④ 病院の存続を目指すな
ら、病院の特徴・売りが必要
で、病床を持つていることを
最大限に活かしつつ、訪問診
療やリハビリ等力を入れるべ
き分野はあると思うが考えを
伺う。

答〔町長〕

① 国保関ヶ原病院は、地域
住民の健康保持のため、検診、
疾病予防及び早期発見、早期
治療及び慢性期の療養、介護
に重点を置き、この地域の医
療の安心を守る病院として運
営を続けてきた。これからも
町民のための病院として存続
するために、経営の改革を推
し進めるとともに、超高齢化
社会と地域住民の医療ニーズ
に対応できるよう、病院機能
の充実と、医療・介護・福祉
との連携を図っていく。

② 地方公営企業法の全ての
規定を適用する全部適用によ
り職員の労働条件が大きく変
わることはないと思うが、患
者様が安心して頼っていただ
ける病院となるため今まで以
上の努力で臨みたい。

③ チェック体制について、
毎月診療状況等科目毎に報告
は見ているが、毎月マイナ
ス面が続いているのを見てわか
る。医師不足が続いていて厳
しい内容のところまで踏み込
んでいかなかったことはある。

今後、全適という形の中で病
院独自の管理体制チェック機
関の設置を考えている。今年
度の改革の取り組みとして
は、「医療の質の向上」「チー
ム医療の推進」「健全な病院運
営」を重点とし、病院全体でT
QM活動等に取り組んでいる。

④ 今年度から整形外科と内
科の医師2名に入局をしてい

ただき、整形外科の水曜日、

土曜日が復活し、内科においても、再診、土曜日のカメラ等の実施が増えたことにより、診療行為の幅が広がり、診療の充実と検査、検診、訪問診療業務が拡充されてきている。また、慢性期、介護、リハビリ、発達外来支援等に対応した新たな介護業務への取り組みに関しても、関係職員によるプロジェクトチームを立ち上げ今調査研究しているところである。

再質問

訪問診療は大変高いニーズがあると思うし、これからますます増えてくると思うが、どういふふうに進められるのか伺う。また、子供の発達支援は県内では大変少ないと聞いているが、どういふいきさつで関ヶ原病院が担うようになったのか、具体的にどんな取り組みがされているのか。その取り組みをどう評価して今後の位置づけにされるのか伺う。

答〔病院事務局長〕

訪問診療について、不破郡医師会が在宅療養の連絡協議会が立ち上げられ、在宅の受け入れの現状の把握をするため医師会が中心となり、その中で当病院が協力病院という形をとっている。外科においては、がん患者の在宅ターミナルを希望する方について、内科の医師の協力も得て訪問看護ステーションと連携をとった形のターミナル体制になった。歯科の訪問診療ができる簡易のバキュームも県補助で購入し活用していきたい。発達外来については、県内で小児の療育の取り組みが少ないことで、当病院の作業療法、療育のなかで、管内の保育園、幼稚園、小学校等の療育指導に親、学校等先生と一緒に必要であれば医療のリハビリにかかっていた。そういうものに取り組みしていきたい。

再々質問

みなさんの努力がなかなか一般的に伝わらない感じがす

るが、町民の方や対外的にもアピールできるようなことが考えられないか伺うのと、経営状況のチェック体制について、外部の方のチェック体制というものも検討してみたらどうか伺う。

答〔町長〕

いろんな活動が町民に伝わらないというが、「今、こんなことやっています。」とアピールすること自体が情けない状態である。宣伝しなくてもいいような体制を早くとっていく。経営のチェック体制について、全適という形で、町からの関与は若干少なくなると思われるが、それなりのチェックができる人、専門家がなければいいが人選等についても検討していく。

質問2

町営駐車場、駐輪場について

問

JR関ヶ原駅に隣接する町

営駅東駐車場について、現在何区画あり、その利用状況を伺う。また、屋根つきの駐輪場から自転車が見積もりが少なかったのではないかと思うが、自転車の利用状況について伺う。現状の様子から、駅に隣接する駐車場、駐輪場としては大変もつたない使い方ではないか。コインパーキングにして不定期に駅を利用する方の利便性を図るのはどうか。また、簡易の駐輪場を増設して屋根をつける等整備が必要と思うが考えを伺う。

答〔町長〕

町営駅東駐車場については、現在、普通自動車用16台、軽自動車用3台のスペースがあり利用状況については、普通自動車用7台と軽自動車は利用がなく、駐輪場のスペースが不足のため、昨年より普通自動車用2台分を駐輪場として解放している。駐輪場には、約120台の利用があるが、40台くらいは屋根

なしのところにとめてある。

しかし、その中にも放置自転車もあり、定期的に放置自転車の撤去も行う必要があると思う。また、駐輪場の増設については、月極の駐車場の利用が少ないことから駐車場のスペースを駐輪場に変更していくことも考えている。コインパーキングについては、設備投資にかなり費用がかかるため、費用対効果を考えると難しい。不定期に駐車場を利用しやすい方法を調査・研究していく。

再質問

屋根付きの駐輪場が整備されているが、自動車の分を自転車用のスペースに使用するには屋根も付いていないので屋根付きの駐輪場に整備していただきたいが伺う。

答〔町長〕

放置自転車の対策は、今まで行っていたが、今後は、定期的に行く必要がある。屋根が付いていない部分につい

では屋根を付けるよう整備する考えである。

質問3 ゴミ袋の改善を

問

町のゴミ袋について、「くりにくい」「持ちにくい」という声を聞いている。そして、手提げ袋状になっている他町の情報を知った町民から、ぜひ手提げ袋状に改善して欲しいとの要望もある。障害のある方や、高齢者の方にとっては切実な願いでもある。また、ひとり暮らしや高齢者世帯では、ゴミの量も少なくミニサイズが必要との声も寄せられている。そういったことからゴミ袋の改善を検討されたいが何う。

答〔町長〕

現在、ごみ袋は南濃衛生施設利用事務組合加入の海津市と養老町が同じ形状のごみ袋を使用しており、同じ袋を製作していることで単価を抑え

ている。形状を単独で変更すると作製単価の上昇につながる可能性があるので、作製業者と打ち合わせをして比較検討していく。ミニサイズについては作製を考えていない。



小谷 清美 議員

質問1

エピペンについて

問

① 食物などによる激しいアレルギー反応「アナフィラキシーショック」から子どもたちを守るうと、垂井・関ヶ原町面町が、症状を緩和する自己注射薬エピペンの使い方を町内の小中学校や幼稚園の教諭らに学んでもらう取り組みを開始したと中日新聞で報道され、両町では、先年秋に学

校、幼稚園の代表者や救急救命士らによる研修会を開催し、今後毎年4月に同様の研修会を継続的に開催し、指導普及に取り組み考えであるところがあるが、関ヶ原町では、すでに何人が経験され、また今後どのように取り組まれていくのか。またその費用はいくらくらいなのか何う。

② 近年保育園等における幼児のアレルギー症状を持つ子が増えているとも聞いているが、一人ひとりの子どもについてどのような食物アレルギーがあるのか調べているのか。アレルギーを持つ子に対して保護者、保育士、調理師などが共通認識、共通理解のもとにその園児に対処しているのか何う。

答〔町長〕

① エピペンの取り扱い扱いの研修については、垂井町で各小中学校、幼稚園、保育園より代表者が受講しており、その後各施設で教育用器具とDVDにより関係する全職員が研

修を受けている。今後も、継続的に研修会は開催される予定であり、積極的に参加させていきたい。研修会の費用は無料である。また購入時の金額は子供用8,112円、大人用1万950円となっている。

② アレルギーに関する調査については、毎年、保育園、幼稚園、小中学校において調査票を作成し、保護者の方に記載していただき該当者とその内容について把握に努めている。また、幼稚園、小中学校においては、保護者、栄養教諭、担任での懇談等も行っており、担任での懇談等については、現在対象となる園児がいないため懇談までは行っていないが、今後対象となる園児があれば同様の懇談等行っていく。

質問2

町内各公共施設の耐震診断結果と耐震補強工事計画について

問

① 平成20年6月に地震防災対策特別措置法が改正され公

立の小中学校の校舎等については耐震診断を実施した建物ごと結果を公表するよう義務づけられ、当町における平成23年12月の建物ごとの状況は別表のとおりであるが、学校以外では中央公民館、町民体育館、働く婦人の家、老人福祉センターなどがかなり古い建物だが各々の耐震診断結果と今後の補強工事計画を何う。

☆Is値とは、建築物の性能を判断するための数値(構造省で安全と目安としている。学校施設は、避難用途の改修以上

別表

施設名	建設年度	Is値	備考
関ヶ原小学校	H20・21		耐震診断必要無し
関ヶ原小体育館	S59		耐震診断必要無し
今須小中学校	S60		耐震診断必要無し
〃 体育館	S61		耐震診断必要無し
関ヶ原中学校	S41	0.3. 0.28	新校舎建設(H25~H26建設)
関ヶ原幼稚園	S53	0.4	耐震補強工事必要
旧北小学校	S53	0.51	解体必要
〃 体育館	S53	0.1	解体必要
〃 幼稚園	S53	0.6	要検討

震度 6 強以上の大規模地震の場合

Is値	危険度
0.30未満	倒壊または崩壊の危険性高い
0.30~0.60未満	倒壊または崩壊の危険性ある
0.60以上	倒壊または崩壊の危険性低い

善センターについては、Is 値の基準値を下回っており耐震補強工事が必要である。今後、施設の利用状況や必要性等改築か建て替えかも視野に入れ財政状況も考慮しつつ優先順位を検討して進めていく必要があると考えている。

再質問

公民館について、耐震性能

が非常に劣るので、万が一の場合に大きな被害が想定されるという所見がでていますが、耐震補強をするのか建て替えるのか、各公共施設は、昭和50年ころにほとんど建てられた古いものばかりで緊急性のあるものから順次計画されると思うが伺う。西保育園と東保育園について耐震診断をした結果補強が必要ならば平屋でも補強しなければならぬのか伺う。

答【町長】

公民館については、正直なところ建物がお年寄りに優しいのか、老朽化が激しいとい

うことで今後の検討課題である。西保育園と東保育園についてはまだ診断結果が出てないのでその結果で判断していく。

再々質問

町民体育館、中央公民館、

幼稚園を耐震補強工事をする

としたら概算でどれくらいの費用がかかるのか伺う。

答【総務課長】

概算で町民体育館は約1億3,400万円。中央公民館は約1億7,200万円かかる。

幼稚園については、耐震診断までしか行っていないため概算は出ていない。

答【町長】

体育館については、鉄骨なので耐震補強工事でも可能かとも思うが、借地であるため検討しなければならぬ。北小の体育館については、本当に危険で今は使用を中止している。今後何らかの利用がでないなら財政状況をみなが

ら取り壊しにかかりたいと考えている。

質問3

ジビエ(獣肉)について

問

県は獣肉(ジビエ)を食肉加工する際の衛生ガイドライン策定に向けて準備を進め、有害鳥獣として捕獲されたニホンジカやイノシシの肉を活用する動きが広がる中で安全管理の基準をつくることで消費者に安心感をもってもらい、消費拡大につなげる狙いとしている。県農村振興課によると、現在はジビエの食肉処理に規制はなく、猟師や料理店が自家消費するケースがほとんどで、捕獲されたうちの9割以上が埋められたり焼却処分されている。有害鳥獣の駆除促進や肉の有効活用という観点からジビエ料理を広める試みが全国ですすめられているが、県がガイドラインを定め6月までに素案をまと

め9月を目途に策定する予定で、加工技術の講習やジビエ料理メニューの開発やPRも行うとしている。県自然環境保全課によると、温暖化等の影響でニホンジカ、イノシシの捕獲頭数は年々増えているという。町内においても過去5年間で猪、鹿、猿等の捕獲頭数1,125頭で殆ど焼却処分されている。焼却の灯油代も相当かかるため、近隣市町との共同処理ができ、ジビエとして売れば地域興し、また経費節減にもなると思うが町長の考えを伺う。

答【町長】

この鳥獣害保護・処理については当町のみならず近隣市町村でもその対応が課題となっている。岐阜県のぎふ農業・農村基本計画の中の魅力ある農村づくりにおいて、今年度獣肉の利活用推進事業が新たに設けられている。その中には、ジビエ商品のPR等の取り組みが計画されているようであるが、そのガイドライン

の進捗状況等町への情報がき
ておらず詳細は把握できてい
ない状況である。県の取り組
みについては、議員ご指摘の
とおり加工処理等の施設を自
治体単独で整備し、維持管理
をすることは非常に難しく、
広域的に共同して処理に取り
組んでいくことが必要と考
える。その先において、ジビエ
料理のメニューまたは調理法を
考えていくことで地場産品化
を図ることができ地域興しに
つなげられると考えている。



川瀬 方彦 議員

質問 1

災害と防災につ
いて

問

町長は昨年11月の町長選挙
において、「安心・安全のま

ちづくり」を公約に掲げられ
たが、関ヶ原町の防災対策に
ついて伺う。

① 平成21年3月31日付で岐
阜県下の土砂災害警戒区域に
指定された地区が多くあり、
土砂災害防止法第7条で「市
町村は警戒避難体制の整備等
の措置を講じなければならな
い」としている。そのうち、
同条2項に定められている高
齢者、障害者、乳幼児等の施
設を利用して居る者に対する
予報、警報の伝達はどうのよ
うに行うのか。また、同条3項
に定められている印刷物の配
布その他必要な措置を講じら
れているか伺う。

② 本年度防災無線の受信機
を各自治会長宅に設置するこ
ととなっている。受信した自
治会長が地区住民に警戒や避
難指示を出す目的もあると思
うが、取り扱いマニュアルが
必要と思われるがいかがか。

答【町長】

① 当町においては、特別養
護老人ホームが同法第7条第

2項該当する施設であり、電
話やファクシミリで気象情報
や避難情報等を連絡すること
としている。同法7条3項に
より指定された箇所数は

106箇所、更に12のブ
ロックに分けて地区を設定
し、地域の皆さんによりワー
クショップを開催し、土砂警
戒ハザードマップを作成して
いる。すでに2地区において
土砂災害ハザードマップの配
布が完了し、現在は1地区に
おいてワークショップを開催
している状況である。

② 自治会長さんには、正確
な情報を伝達し、状況を把握
していただくもので、避難所
情報等を地域の方に伝達して
いただくことが大切であるた
め、情報の伝達方法や地域防
災無線の取り扱い等のマンユ
アルを作成したいと考えている。

再質問

土砂災害防止法特別警戒区
域に指定された地区は、宅地
建物取引業法における宅地建
物取引における措置におい

て、警戒区域では、宅地建物
取引業者は当該宅地、または
建物の売買にあたり、警戒区
域である旨の重要事項説明を
行うことが義務づけられてい
る点において、一般的に警戒
区域内にある場合、不動産売
買における評価の見直しをど
のように考えているのか伺
う。防災無線の受信機を自治
会長宅だけでなく例えば自主
防災隊のようなものがある地
域にその隊長宅にも防災無線
の受信機を配置できるように
するとか、伝達がスムーズに
行えるようなシステムづくり
が大切と思うがいかがか。昨
年防災会議が行われたが、立
場の違ったところからのいろ
んな問題点を提起し地域防災
計画の見直しを早急に進めて
いただきたい。また、役場内
でも防災における各課の問題
点等プロジェクトチームを作
り協議する必要があるのでは
ないか伺う。

答【町長】

土砂災害区域に指定された

場合の土地の評価について、
土地については特別警戒区域
の部分についてはみ少し減免
している。減免措置というの
は、町単独で決められるとは
いえ、周辺地域等の状況も見
ながら決めさせていただく。
防災無線の受信機について、
ご要望がある地域については
申請をしていただいでその上
で設置を進めるという対応を
させていただく。防災会議の
メンバーの拡大については、
やぶさかではないので考えさ
せていただく。

質問 2

観光事業につ
いて

問

全国的に有名な関ヶ原にお
いて観光事業に力を注ぐこと
は重要課題でもある。古田岐
阜県知事は「岐阜県は清流の
国である。観光については有
名な高山、次いで関ヶ原」と
言われたそうです。岐阜県と
しても観光事業に力を入れて

いきたいと思われる今こそ関ヶ原としてどのように展開していけばよいのか考える時期だと思いが2点伺う。

① 駅前開発事業として、観光案内、物販、飲食物が必要だと思いが、整備時期も含めどのような計画をたてられているか伺う。

② 観光協会の設立について、未だ進展がないように思われるがどこまで話が進んでいるのか。近々に設立できる目途があるのか伺う。

答〔町長〕

① 現在、北側の建物所有者の用地を含めた形での整備計画を考えているが、管理者の方々との協議が整えば街角案内、物販、軽食、公衆トイレ等の整備を要する施設のレイアウト等や運営方法について、協議会での提言などにより計画的に進めていく。建設時期については、できるだけ早く用地問題を解決し、取り壊しと設計にかかりたい。

② 観光協会の設立について

は、設立準備委員会を立ち上げる準備を進めており今月末に第1回目の会議を開催する予定である。その中で、設立の具体的目標、目的を定め、組織や規約、運営などについて順次協議して観光協会の再結成につなげていきたい。

再質問

観光事業がよくなれば関ヶ原に来ていただける来町者が増え、地域産業の活性化につながり税収もアップすると思う部分も見込まれると思うが、どの事業に対しても役場職員だけではなく、住民の方々とおもてなしの心を持ち観光客や来町者に接することが大切である。関ヶ原町として全国的に打っていけるイベントを地域の方々と一緒に盛り上げられるようなそんなイベントも考慮していただきたいが町長の考えを伺う。

答〔町長〕

関ヶ原は観光のまちという形の中でずっと来ているが、

観光物産の店も少なく観光業者と認定できるような店も少ない状況であり、住民の参加が非常に求められている。今後は、住民の方に参加をお願いしたいイベントを計画させていただきたい。住民の方の自主的な参加に期待をしている。



議員 子安 健司

質問

駅前駐輪場及び駅前スペースについて

問

以前より問題視されていた駅建物の西側の路上駐輪や放置自転車は、警告板の設置や見回りなどで現在ほとんどなくなっているが、2年ほど前に建てられた駅東の駐輪場は、駅前の整備や環境づくりに一役買っている。しかし、

最近では、駐輪場に入りきらない自転車が増え、駐輪場の外にまで止めてある。西側の有料駐輪場も半分も利用されていないように思われるが、駐輪場の空きがたくさんあるようなら駐輪場を拡張されてはどうか町長の考えを伺う。

また、駅前のスペースについて、現在バスの転回場やタクシーの待機場があるが、電車の発着時間になると送迎の車などで混雑し、事故が起きないとも限らない。JRや近鉄タクシー、バスとの兼ね合いがあり町だけで解決できる問題でないが、事故を未然に防ぐためにも防止策が必要ではないか町長の考えを伺う。

答〔町長〕

駅東の駐輪場の問題については、4番議員にお答えしたとおりである。増設規模については今後検討する。既存の駐輪場の利用に支障が出ないような形で増築をしなければならぬと考えている。駅前のスペースの整備につ

いては、ロータリーのような形態に整備するには大変難しく、JR、タクシー会社等と安全確保策を考えていかねばならない。

再質問

駐輪場の規模の検討時期は今年度補正で行うのか来年度予算で行うのか。駐輪場と駐輪場の出入り口が一緒だがトラブルのもとになりかねないので、増設の場合には別々であるほうがいいのではないか。旧島田邸の再利用時には安全でかつ整備された駅前づくりを検討していただきたいが伺う。

答〔町長〕

駐輪場の整備は新年度予算で考えたい。出入り口の件についても整備する段階において検討させていただく。島田邸の再利用時にはレイアウトを考える中で駅前の利用も含め考え合わせて整備を進めていきたい。

委員会報告

議会運営委員会

5月23日
6月議会定例会の会期日程等について協議決定した後、総務課長より提出予定議案の説明を受けた。その他として9月議会定例会の開催予定日、請願書の取り扱いについて協議した。

総務民生常任委員会

6月5日
6月定例議会提出議案の関ヶ原中学校建設工事の請負契約について、工期を平成25年6月から平成26年12月までとし、開校予定日を平成27年7月とすること等担当課長から説明を受け各委員より随時質問を行い、適切な回答を得た。

6月13日
本定例会初日に付託された請願第1号 敦賀発電所1号機・2号機、美浜発電所1号機・2号機の廃炉を求める請

願についての審議を行った。結果、多様な意見が出たが、本請願に対する賛否の意思表示は現段階では難しいため、国の動向を見定めながら継続して審議することとなった。

産業建設常任委員会

6月4日
6月議会定例会の提出予定議案の町道の路線変更、路線認定の趣旨や農林業水産業費、土木費の一般会計補正予算等また、今須農業集落排水事業特別会計補正予算等の説明をそれぞれ担当課長から受け、各委員より随時質問を行いその都度適切な回答を得た。

6月13日
本定例会初日に付託された請願第2号 TPPへの参加に反対する請願についての審議を行った。結果、この請願は農業を主としてとらえ参加に反対する趣旨が含まれていないが、関ヶ原町の農業に多大な影響を及ぼすとは考えられない。などこの請願に反対の意見が多く、今後の政府の交渉状況を見定めて判断することとで、この請願は不採択に達した。

議会活動日誌

【5月】

- 8日 第二回議会臨時会
- 13日 西濃地域食品衛生協会関ヶ原支部総会
- 15日 不破郡正副議会議長会
- 21日 町商工会総代会
- 21日 青色申告会通常総会
- 22日 町シルバー人材センター通常総会
- 26日 町民軟式野球大会・町民ソフトミニバレーボール大会
- 28～29日 全国町村議会議長会研修会（東京）
- 29日 町ゲートボール・ペタンク大会
- 30日 議会運営委員会
- 3日 岐阜県町村議会議長会臨時総会
- 4日 産業建設常任委員会
- 5日 総務民生常任委員会
- 8日 町民グランドゴルフ大会
- 9日 町青少年健全育成大会
- 11日 第三回議会定例会（初日）
- 13日 総務民生常任委員会
- 13日 産業建設常任委員会

【7月】

- 21日 第三回議会定例会（最終日）
- 23日 那消防練法大会
- 27日 東海環状自動車道西回りルート建設事業説明会及び建設促進大会
- 2日 交通安全推進協議会
- 8日 西南濃町村議会議長会
- 10～11日 議員視察研修
- 12日 日置市・関ヶ原町スポーツ少年団結団式
- 19日 岐阜関ヶ原線定期総会
- 24日 東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会、国道21号・22号合同総会
- 30日 町民納涼ソフトボール大会

議員視察研修

現在（株）シートテック（名古屋市）が今須地区（大垣市上石津町との境付近）に進めているウインドパーク南伊吹風力発電事業（仮称）計画の概要を6月21日役場会議室で説明を受けました。1基あたり3,000KWの風車16基で年間想定発電電力量は94,200MWhとのこと。議員からは4月におきた風力発電設備落下事故や低周波騒音等の質問をし回答を得ました。

また、7月10日には三重県津市の（株）シートテックが運営するウインドパーク美里の現地視察を行い、風車の100メートル付近にて音量を体感し、専用機器による計測や設備内部の見学をしました。



あなたも議会を
傍聴してみませんか。

9月定例会初日は

9月6日（金）

開会の予定です。